

(2) オリンピックを通した北海道の魅力発信について

次に、オリンピックを通した北海道の魅力発信について伺います。

半世紀前の1972年に開催された、『冬期オリンピック札幌大会』では、国内外から多くの方が北海道に來道し、オリンピック競技を觀戦した後は、道内の主要都市を観光で訪れ、その地域でキラリと光るものを発見し持ち帰ったとお聞きしています。

一例を挙げると、私の地元では、『JR愛国駅から幸福駅の切符』と、当時は珍しい『ホワイトチョコレート』が旅行客の目に止まり、口伝えで全国に広まったとのことであり、まさに、オリンピック効果であったと考えます。

道内には、自然豊かな景観と農林水産物など素晴らしいものが、溢れています。

道は、北海道の魅力発信について取り組むことも承知しております。

東京オリンピックが1年間延長されたということは、更に磨き上げる時間ができたということであります。

オリンピックを通した北海道の魅力発信について、道が自治体と連携して進めていくことは極めて重要と考えますが、道としてどう取り組むのか伺います。

(答弁：東京オリンピック連携推進監)

- ・オリンピック競技の札幌開催は、北海道が世界から注目され、観光振興や地域振興にもつながる大きなチャンス。

- ・道としては、延期により生じた準備期間を活かし、市町村との意向も踏まえ、地域と連携した効果的な情報発信の手法を検討。
- ・国などが検討を進めている、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、道が実施する取組に地域の皆様が安心して参画できるよう、着実に準備を進め、本道の魅力を広く発信することで、開催効果を全道に波及し、本道の活性化に結びつける。